

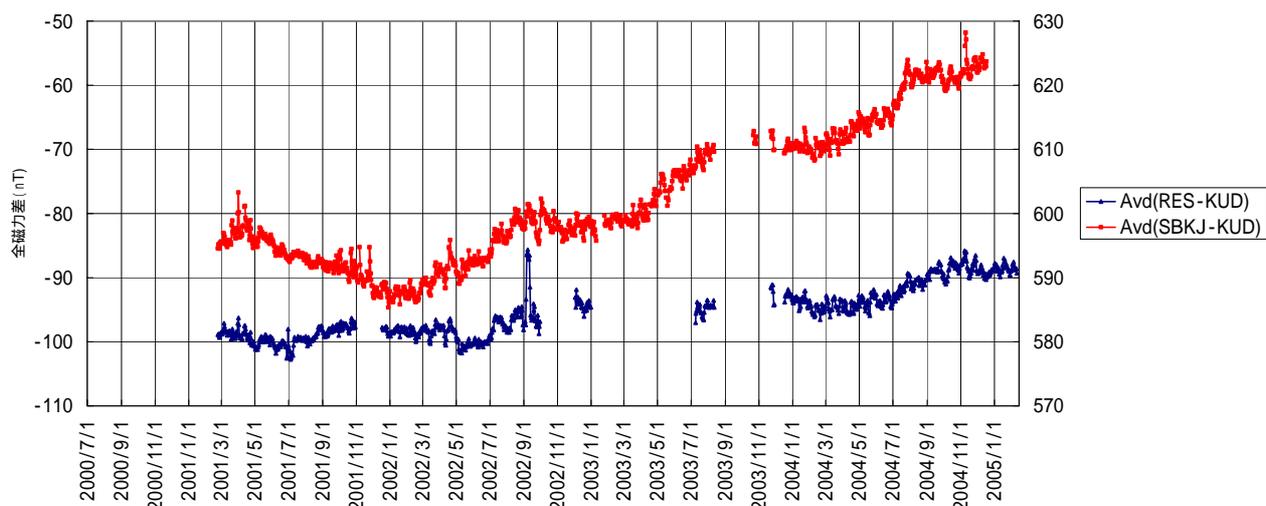
三宅島全磁力

村営牧場が 12 月半ばに欠測しているが，12 月はじめの噴火に関連した明瞭な変化は見られず，全磁力の増加が継続していた．レストハウスでは全磁力は増加している．以上のことから，火口直下の温度は低下が継続していると考えられる．

神着観測点の欠測（充電障害）のため，神津島基準の変化と村営牧場 - レストハウスの変化を示す．

神津島基準

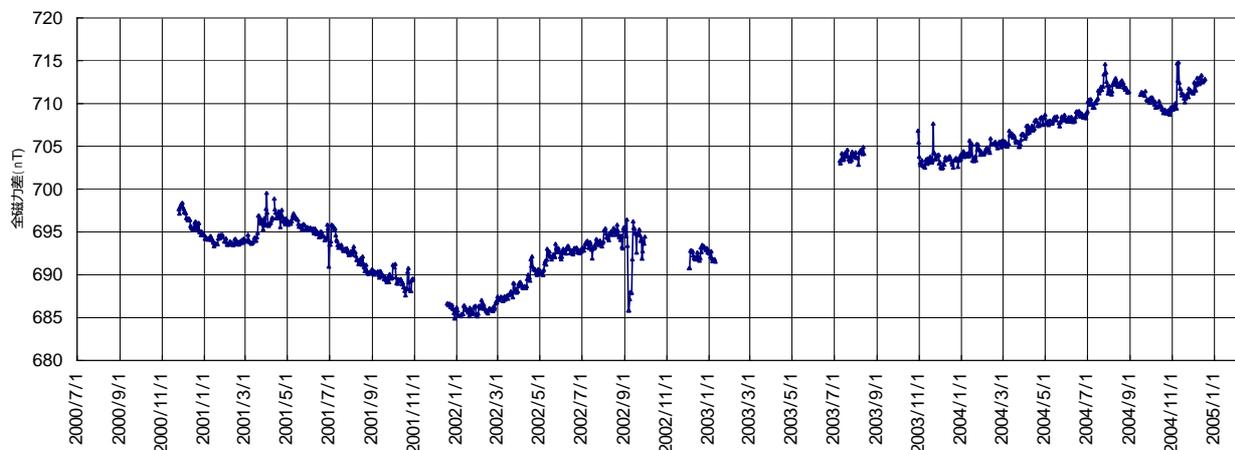
三宅島レストハウス・村営牧場全磁力
(神津島基準日平均)



村営牧場は，12 月半ばに欠測となったため，現状はわからないが，12 月初め噴火後までの段階では，定常的に全磁力が増加している．レストハウスは，増加傾向が継続している．

レストハウス基準村営牧場

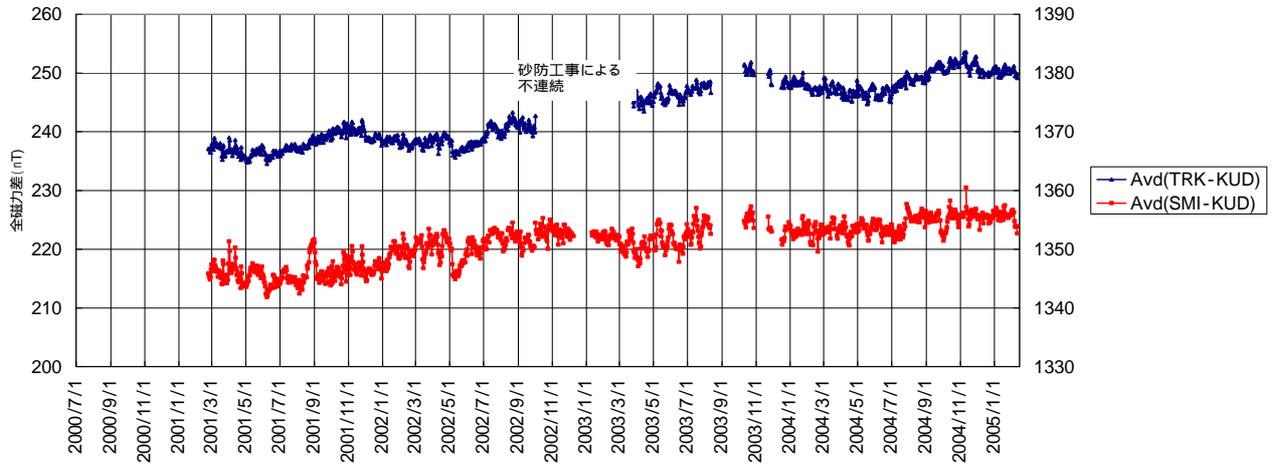
三宅島村営牧場全磁力
(レストハウス基準日平均)



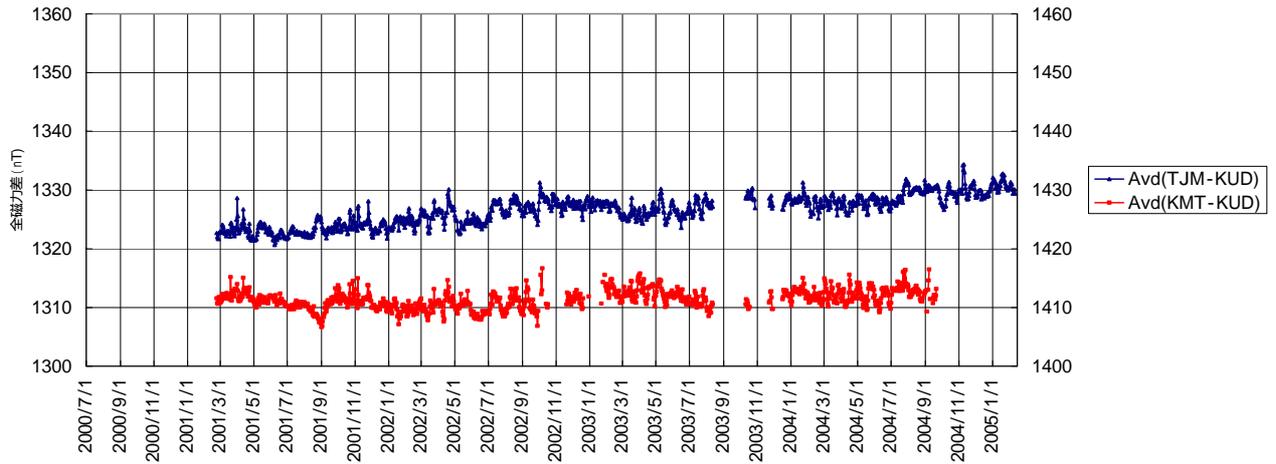
季節変化が見えているが，村営牧場が 12 月半ばまでは相対的に増加している．

神津島基準その他の観測点

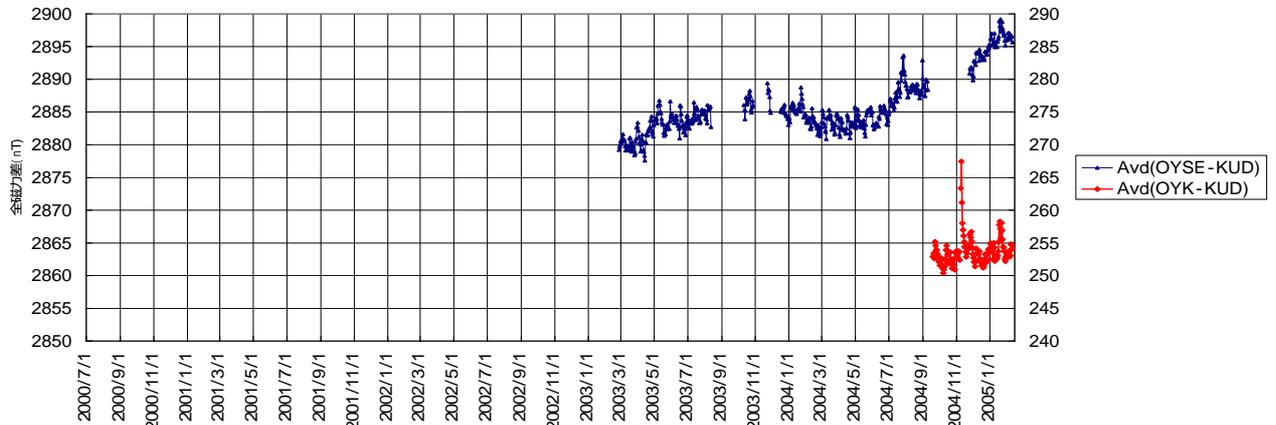
三宅島大路池北・新濤池跡全磁力
(神津島基準日平均)



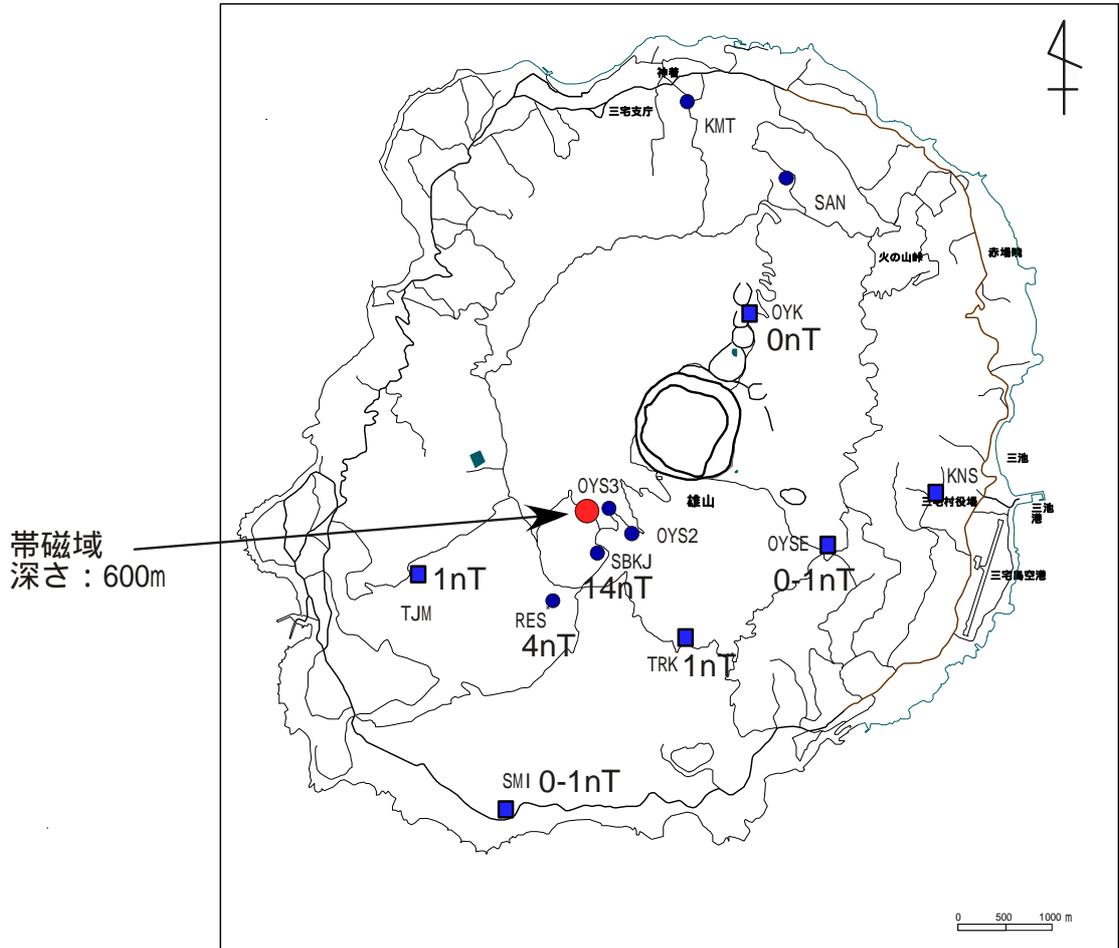
三宅島手島牧場・神着全磁力
(神津島基準日平均)



三宅島雄山南東・雄山北全磁力
(神津島基準)



全磁力変化
2004年1月 - 2005年1月



2004年1月から2005年1月までの全磁力変化を推定すると図のようになる(村営牧場は傾向が継続していると仮定)。村営牧場でおよそ14nTの増加, レストランハウスで4nTの増加, 大路池北, 手島牧場, 雄山南東, 新澗池跡, 変化していないか, 1nTの増加である。他の観測点では変化はない。

この変化を満たす帯磁域の位置は, 村営牧場の北300m, 西100mの付近にあり, 深さは600m程度と推定される。帯磁域の大きさは全帯磁に換算して, 4百万立方メートル程度である。この結果は, 以前に報告した, 2002年7月から2003年9月までの期間についての結果とほぼ同じである。このことは, 温度低下による帯磁が, 海水面レベルにおいて, ほぼ同じペースで継続していることを示すと考えられる。

参考: 2002年7月 - 2003年9月

村営牧場でおよそ15 - 17nTの増加, 雄山南2で10nTの増加, レストランハウスでは, 変化していないか, 0-2nTの増加である。他の観測点では変化はない。

この変化を満たす帯磁域の位置は 村営牧場の北300m 東200mの付近にあり, 深さは400mから600m程度である。帯磁域の大きさは全帯磁に換算して深さ400mの場合, 2百万立方メートル, 深さ600mの場合, 4百万立方メートル程度である。